



2022 年 7 月 号

NO. 342

T O P I C S

就任のご挨拶

(公社)日本パブリックリレーションズ協会 理事長 牧口 征弘
MESSAGE P4

新任理事・監事メッセージ

ATTENTION P5

第32回1次試験 申込み受付中

ATTENTION P10

「パブリックリレーションズ中堅実務者講座」を開講

ATTENTION P11

「新任広報部長講座」をリアル開講

ATTENTION P12

公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会

〒106-0032 東京都港区六本木 6 丁目 2 番 31 号 六本木ヒルズノースタワー5F
電話(03)5413-6760 ファックス(03)5413-2147

URL <https://www.prsj.or.jp/>

関西支部 〒530-0003 大阪市北区堂島 2-1-27 桜橋千代田ビル 3F
電話(06)6344-3002 ファックス(06)6344-3005

発行人: 牧口 征弘

7月号目次

7月～8月のスケジュール	—	2
MESSAGE(メッセージ)	就任のご挨拶	— 4
ATTENTION(お知らせ)	新任理事・監事メッセージ	— 5
〃	第32回1次試験 申込み受付中	— 10
〃	「パブリックレーションズ中堅実務者講座」を開講	11
〃	「新任広報部長講座」をリアル開講	12
BULLETIN(活動報告)	第39回広報ゼミ開催報告(会員限定)	— 13
REPORT(講演レポート)	第220回定例研究会(正会員・個人会員限定)	— 13
協会掲載記事	PRSJ in Media	— 14

7月～8月スケジュール

【オンライン】

国際セミナー

日 時 7月7日(木) 16:00～17:30
 テーマ 「グローバルメディアの潮流とニュース報道」
 講師 ウォール・ストリート・ジャーナル日本版編集長
 西山誠慈氏

【オンライン】

第 221 回定例研究会

日 時 : 7 月 20 日(水) 14:00～15:20
 テーマ : TBSテレビ「news23」はこう作られる
 ～夜の報道番組 制作の舞台裏を探る～
 講 師 : 株式会社 TBS テレビ 報道局 news23 制作プロデューサー
 辻丸 良明氏

【対面およびオンライン】

パブリックリレーションズ中堅実務者講座

日 時 : <対面>7 月 25 日(月) 15:00～17:45
 <オンデマンド Web 講座>2022 年 8 月 3 日(水)～9 月 30 日(金)
 テーマ : 現場で輝く中堅広報実務者がなすべき仕事は？
 ～日々の取組みを支える考え方や役割、実務のポイント～
 講 師 : クレアブ株式会社 代表取締役社長 土井正己氏
 経済ジャーナリスト／株式会社グラニテ 代表取締役 池田直渡
 氏
 会 場 : AP 東京八重洲

【対面】

新任広報部長講座

日 時 : 7 月 27 日(水) 14:00～18:30
 講 師 : 株式会社ローソン 常任監査役 宮崎 純氏
 日本経済新聞社 日経産業新聞編集長 松井 健氏
 国広総合法律事務所 弁護士 國廣 正氏
 会 場 : ミーティングスペース AP 新橋

【オンライン】

中堅実務プログラム

コーポレート・コミュニケーション講座

日 時 : 7 月下旬予定
 テーマ : 未定
 講 師 : 調整中

7月～8月の理事会・委員会・ 部会スケジュール

定例理事会	(7月度)	日 時	: 7月 14日 (木)	16:00～17:30
	(8月度)	会 場	: 霞会館+オンライン : 休会	
教育委員会	(7月度)	日 時	: 7月 21日 (木)	15:00～16:30
		会 場	: オンライン開催	
資格委員会	(7月度)	日 時	: 7月 28日 (木)	12:00～14:00
		会 場	: ハイブリッド開催	
国際・交流委員会	(7月度)	日 時	: 7月 1日 (金)	16:30～17:30
		会 場	: オンライン開催	
広報委員会	(7月度)	日 時	: 7月 28日 (木)	16:00～17:00
		会 場	: オンライン開催	
顕彰委員会	(7月度)	日 時	: 7月 25日 (月)	15:00～16:00
		会 場	: オンライン開催	
企業部会幹事会	(7月度)	日 時	: 7月 6日 (水)	17:00～18:00
		会 場	: オンライン開催	
PR業部会幹事会	(7月度)	日 時	: 7月 19日 (火)	16:00～17:00
		会 場	: オンライン開催	

就任のご挨拶

公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会
理事長 牧口 征弘



過日、承認を頂戴し、理事長職に就任いたしました牧口と申します。微力を尽くして責務を全うする所存でございますので、よろしくお願いいたします。

今更触れるまでも無く、世の中の変化は激しく、かつ早く、日々度合いを強めています。その最中であって、パブリックリレーションズの仕事もまた、常に進化し続けることを求められていると考えます。自ずと、パブリックリレーションズの定義も更新され続けていくはずで

す。この再定義の際に重要となるのは、何を大切に何をして何を付け加えていくか、であると思います。

パブリックリレーションズの価値の核心となる部分を磨き上げ、時代に応じた要素を掛け合わせていく。その先に、必然としての領域の拡張がある。

公益に資するという重要な使命と共に、パブリックリレーションズの発展のために、協会のなすべきことは多岐に渡るものと認識せざるを得ません。

そのような課題に向き合い、検討し、解決していくための活動は、理事の方々、会員の皆様方の御助力、そして事務局メンバーの協力無くしては、成立し得ません。改めまして、お力添えを賜りたく、お願い申し上げます。

パブリックリレーションズの仕事の本質は、一言で申し上げると、「より良き関係づくり」である、と考えています。

存在と存在の間に関係が生じ、その関係をより良いものにしていくためには、わかり合い信頼し合うことが必須の条件となります。

こうして言葉にしてみると、この仕事の普遍性、人間社会における重要性が明確になります。そしてその瞬間に、この仕事の持つ意味と可能性に心地良い緊張感を覚えます。

一つ一つの「より良き関係づくり」の果てに、「より良き社会づくり」を見据える。この仕事の醍醐味、そして喜びは、そういったところにあるのだと信じています。

協会の存在意義もまた、こういったパブリックリレーションズの本質と一体不可分のものであると受け止めつつ、皆様の引き続きの御理解と御協力を賜れば幸甚に存じます。

副理事長・常務理事・理事・監事 ご挨拶

副理事長 鈴木 孝徳（教育委員会 委員長／経営企画会議委員／
コンプライアンス会議議長）



引き続き副理事長および教育委員会委員長を務めさせていただきます。新中期計画にある「パブリックリレーションズ・プロフェッショナル」の育成に向け、新たな協会活動の取り組みに挑戦してまいります。新型コロナの感染拡大そしてウクライナ戦争と世界は分断と混迷の度合いを深めています。このような不透明な時代にこそパブリックリレーションズの果たす役割は大きいと感じています。皆さんとともにパブリックリレーションズを通じ、よりよい社会の実現をめざしてまいります。よろしくお願いいたします。

副理事長 岩切 正哉（企業部会 部会長／経営企画会議委員／
コンプライアンス会議委員）



副理事長・企業部会長として2期目の担務をお任せいただくことになりました。1期目はコロナ禍により、大半の協会活動がオンライン化や中止となり、画面越しのコミュニケーションの利便性と限界を体感した2年間でしたが、今、対面での名刺交換がこれほど人を身近に感じさせてくれることに改めて驚きと喜びを感じています。新たな時代における、新たなパブリックリレーションズの在り方を皆さんと共に考えてまいりたいと思います。

副理事長 江良 俊郎（PR業部会 部会長／経営企画会議委員／
コンプライアンス会議委員）



この度、当協会の副理事長およびPR業部会長を拝命いたしました。この場を借りて、会員の皆様に感謝いたします。ツーウェイコミュニケーションを基本としたパブリックリレーションズとその担当者は、あらゆる組織で重要度を増しており、必要性も高まっているところです。今後、より一層業にかかわる会員各社の発展に尽力するとともに、広報担当者の存在感向上のため、職責を果たすべく全力で取り組んでまいります。会員企業の皆様方のご支援ご鞭撻をいただければ幸いです。

副理事長 伊東 由理（資格委員会 副委員長／経営企画会議委員／
コンプライアンス会議委員）



副理事長および資格委員会副委員長を拝命しました伊東です。「PRに関わるすべての人に、半歩先から情報を提供し、足元を照らす一つの存在になりたい」立候補の際の抱負です。変化のスピードが速く、VUCAと呼ばれるこの時代、PRSJのような存在は重要であり、同時に我々にも進化と深化が求められるのは言うまでもありません。そして、それは、他の役員や会員の皆さんと手を取り合い、知恵を集めなければできないとも考えます。冒頭の抱負が抱負で終わらぬよう、気を引き締め向き合いたいと思いますので、皆様、これからどうぞ宜しくお願いいたします。

常務理事 渡邊 啓

今期より常務理事を拝命いたしました渡邊啓でございます。事務局長として2016年より当協会の業務に携わってまいりました。その間、会員制度の改革、COVID-19への対応、中期計画の策定など、様々な変化を協会ならびに日本のパブリックリレーションズの力に変えるべく、会員の皆さまのご指導・ご鞭撻、多大なご協力をいただきながら業務を進めてまいりました。

今後もさらなる変化をポジティブに受け止め、会員の皆さまのニーズや社会からのパブリックリレーションズへの期待の声を集めながら、パブリックリレーションズの一層の普及・発展に微力ながら努めてまいりたいと思います。

改めてよろしくお願い申し上げます。

理事 遠藤 祐（教育委員会 副委員長）

この度、理事を拝命いたしました博報堂PR局の遠藤祐と申します。理事選挙におきましては、会員の皆様から多大なご支援賜り、深く感謝申し上げます。ご期待にお応えしていけるよう、精一杯、努めてまいります。

パブリックリレーションズの視座・技術は、企業・団体が社会と共生していく中で、ますます、その重要性が高まっていると言えます。協会活動を通じ、パブリックリレーションズが持つ価値をさらに引上げ、企業・団体と社会がよい関係になれるよう、微力ながら貢献できればと考えています。どうぞよろしくお願い申し上げます。

理事 吉柳 さおり（PR業部会 副部長）

改めて理事再任をさせて頂き光栄です。2020年から理事及びPR業部会を担当させて頂いておりますが、同業他社の皆様との議論は大変有意義で、PR業も連携し、PRパーソンの育成、輩出や新しい時代の広報の価値をともに協力しあい作っていただけるのではないかと感じています。協会と業界全体への更なる発展にこれからも貢献できるよう尽力いたします。

理事 齋藤 博海（関西部会 副部長）

先日、第11回通常総会に出席し、改めて錚々たるメンバーと活動をさせて頂くことに身の引き締まる思いを感じました。これまでの会社生活において結構長い期間広報を担当させて頂いていると思っておりましたが、PRの世界は奥深く、まだまだ未熟で学ぶべきことが多々あると痛感致しました。一方で、拙いこれまでの経験も活動に貢献できることがあるのではないかとこの思いにも至りました。皆様のご指導を宜しくお願い申し上げます。

理事 坂本 香織（企業部会 副部長）

理事を拝命し、とてもわくわくしています。私自身、広報の仕事が大好きで、20年近く広報領域に携わってきました。「経営視点で、コミュニケーションを通じて、企業価値向上に寄与する」というのが、広報の大きなミッションであり、やり甲斐だと思っています。広報の本質、広報の在りたい姿、そのために身に着けるべき力、という核心を、皆様と一緒に様々な企画を通じて探求していければと思っています。



理事 飾森 亜樹子（資格委員会 委員長）

長年、コーポレートコミュニケーションという仕事を通じ、会社の経営・事業だけでなく、業界や社会の大きな変革・進化に関わってきました。社会の最前線で幅広く、奥の深い経験を得られるこの仕事はすばらしいものです。本質的な変化が巻き起こる時代こそ、情報発信だけでなく、社会との対話・ステークホルダーとのコミュニケーションの役割が益々重要になります。個人と組織の成果が見える化され、社会の隅々に行き渡り、「社会を良くする」「企業を変革する」ことに繋がるよう、引き続き業界と人材育成に貢献してまいります。



理事 柴山 慎一

12年ぶり（当時は野村総合研究所の広報部長）の出戻り理事となります。この間、広報の仕事の経験をベースにして教育、研究、実務と研鑽を続けてまいりましたので、それらの経験をもとにお役に立てればと思っております。理事長を務めております日本広報学会においては「新たな広報概念の定義」プロジェクトを進めており、現下にふさわしい広報（パブリックリレーションズ、コーポレートコミュニケーション）の再定義に挑戦しております。皆様のご支援もよろしくお願いいたします。



理事 鈴木 勇夫（顕彰委員会 委員長）

このたび、理事に再選いただき、顕彰委員会の委員長を拝命いたしました。状況の変化に応じリアルとオンラインのハイブリッドでの運営を取り入れた「PRアワードグランプリ」や、「パーソン・オブ・ザ・イヤー」、「シチズン・オブ・ザ・イヤー」など、顕彰事業の一層の充実や改善を図り、会員の皆様のスキル向上、社会や企業におけるPRへの理解促進につながるよう、微力ではございますが努力してまいります。何卒、よろしくお願い申し上げます。



理事 長澤 修一（国際・交流委員会 副委員長）

この度、理事に選任頂きました住友商事広報部長の長澤と申します。広報部としてのキャリアはこの4月からとなりますが、直近まで、映画会社に16年、デジタルマーケティング会社に4年と、20年近くメディア関連の事業会社に出向しておりました。広報もメディアビジネスも、熱量をしっかりとお届けするという本質は同じだと感じております。微力ながら、本協会に貢献出来ればと存じますので、何卒、宜しくお願いします。



理事 福田 将吾（広報委員会 副委員長）

今般、理事を拝命いたしました株式会社JERAの福田でございます。これまでは企業部会の幹事として協会に関わらせていただきましたが、これからはパブリックリレーションズ協会の理事としても活動をさせていただきます。協会のさらなる活性化に向け「何が出来るのか」、「どのようなことでお役に立てるか」を考え、そして皆様のご指導・ご鞭撻を賜りながら役割を果たしてまいりたいと考えております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

理 事 細見 基志（関西部会 部会長）



このほど、サントリーの西島様からバトンを受けました関西部会長の細見です。関西は、経済圏・生活圏とも適度な大きさで、ざっくばらんで親しみやすい風土・文化から「人の交流・温もりのある人脈づくり」に適した土地柄です。約30年のPR活動におけるマスコミ・企業広報等の皆様との出会いが私の財産です。これまで育てて頂いた「関西」のお役に立つことで、PRSJ様の発展に寄与したいとの思いで理事を務めてまいります。

理 事 本田 哲也（個人会員担当）



分断が進み、不確実性の高い現代において、共感と合意形成を促すパブリックリレーションズの重要性は向上しています。また、事業会社と支援会社に続く第三の存在として、フリーランサーなど個人のPR従事者も増えてまいりました。スタートアップ企業で急増している、いわゆる「ひとり広報」の課題も顕在化してきました。今年度も、理事として業界の事を考え、行動していく所存です。よろしくお願いいたします。

理 事 松本 理永（広報委員会 委員長）



この度2期目を務めさせていただくことになり、さらに広報委員長という大役を拝命いたしました。パブリックリレーションズへの期待と可能性は高まるばかりですが、一方でその意義や、そこに携わるプロフェッショナル達の活躍はまだまだ知られていない部分もあると認識しています。PRの「パワー」がどれだけ強いものなのか、より多くの方々に知っていただき、それによってPRのプロフェッショナルを多く生み出し、世の中の当たり前を良い方向に動かしていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

理 事 脇山 亜希子（国際・交流委員会 委員長）



第一線で活躍するPRパーソンとの交流と研修プログラムに魅力を感じ、2012年に協会に入会させていただいてから、早10年の年月が流れました。協会理事としては3期目を迎え、より一層身が引き締まる思いです。PRや広報を司る部門の役割と活動領域は年々広がりを見せています。引き続き、国際・交流委員会の活動を通じて、PRパーソンの育成と、協会活動の認知拡大に貢献すべく、真摯に取り組んで参ります。ご支援いただけますと幸いです。

理 事 渡邊 香織（個人会員担当／資格委員会委員）



この度、理事を拝命いたしました。広報職は離れましたが、広報時代に学んだ、情報収集力、俯瞰して全体像を把握する力、そしてコミュニケーションの大切さは現在の業務でも変わりません。非財務の価値を把握し、伝えるように伝えていくことが重要なこの時代、パブリックリレーションズのスキルはビジネスパーソンにとって一層重要になると考えます。企業経営に役立つ広報とはどうあるべきなのか、PR業界の皆様、企業広報の皆様とともに考え、議論し、協会活動の発展に貢献したいと考えております。

監 事 大石 哲也

2022年6月9日より、私共公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会は、新たなる役員組織として更なるスタートとなりました。

3期6年理事としてPR業部会長として務めさせていただいた大石も、ここに理事を卒業、お目付け役とでもいうのでしょうか、監事として後席に廻る事になり少しホッとしています。

日々年々益々の社団法人として恥ずかしくない組織となった事、目を見張る思いでした。

これまでの会員各位のボランティアとしてのご協力に今更ながら感謝の思いです。

監 事 富岡 洋子

この度、監事を務めさせていただくことになりました。加速化する世界の変化に呼応し、社会も企業もサステナビリティの重要性に正面から向き合い、大きな変革に挑もうとしています。この激変の時代に、多様なステークホルダーとの真摯なコミュニケーションはますます重要になり、協会の社会的意義も一層大きくなるものと考えます。以前、理事として関わらせていただいた時とまた異なった視点から、協会の活動に貢献していきたいと思っていますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

監 事 山田 悦朗

監事として3期目となります。副理事長として企業部会を中心に協会活動に係り、PRプランナー資格認定制度、PRアワードをはじめとする各事業の拡大、公益社団法人化などを、その後監事として会員制度の改定、40周年宣言等協会活動の充実等を見てまいりました。コロナ禍でこの2年ままたらなかった各種活動が、様々な努力工夫によりここにきてようやく活性化しつつあります。他の理事の皆様と共にさらにご支援できれば、と思っております。

PRプランナー資格認定制度／検定試験

第32回1次試験 申込み締め切り迫る！

—試験期間は、8月13日(土)～28日(日)まで—

資格委員会

2022年度後期（第32回）1次試験のお申込み受付を6月1日（水）より開始しました。

第32回1次試験はCBT方式で、試験期間は8月13日（土）～8月28日（日）の16日間で実施します。本1次試験は広報・PRに関する基本的な知識を問う出題となり、これまでに13,641名が受験し、10,248名が合格しております。

仮申込み期間が間もなく終了いたしますので、受験をご検討の方はお早めにお申込みください。

- 全国に開設されたテストセンターで、PCを使って受験していただきます。
- 16日間の試験期間で、ご都合のよい日時・会場を選択できます。
- 受験料のお支払いはクレジットカード払い、コンビニ払い、Pay-easy（ネットバンキング）からお選びください。（手数料は無料です）
- 今回は定員の制限なくお申込み可能ですが、ご希望の日時・会場が先約で埋まってしまう場合もありますので、お早めにお申込みください。

【1次試験 お申込みから合否通知までの流れ】



【PRプランナー資格認定制度／検定制度 第32回1次試験 実施概要】

試験期間	2022年8月13日（土）～8月28日（日）
仮申込み期間	2022年7月29日（金）23:59 まで ※PRプランナー資格制度 Web サイトでのお申込みとなります。 （本申込に必要な受験コードを取得）
本申込み期間	2022年6月1日（水）～2022年8月5日（金）23:59 まで ※CBTS Web サイトにユーザー登録後、同サイトでの本申込みとなります。（受験日時・会場選択、受験料のお支払い）
合 否 発 表	2022年9月14日（水）正午
試験出題数／試験時間	50 問／80 分
合 格 基 準	全出題数に対して正答率 70%以上で合格
対 応 公 式 テ キ ス ト	広報・PR概説（2022年度版）

試験スケジュールにつきましては、変更する可能性もございますので、下記のPRプランナー資格制度 Web サイトでご確認くださいよう、お願い申し上げます。

PRプランナー資格制度 Web サイト：<https://pr-shikaku.prsj.or.jp/>



パブリックリレーションズ実務講座 2022

「パブリックリレーションズ中堅実務者講座」を開講 ～「現場で輝く中堅広報実務者がなすべき仕事は？」～

教 育 委 員 会

協会では、広報の現場でリーダー的存在として活躍する中堅実務者を対象として、「パブリックリレーションズ中堅実務者講座『現場で輝く中堅広報実務者がなすべき仕事は？～日々の取り組みを支える考え方や役割、実務のポイント～』」を開講します。なお、開講は、会場講座は7月25日、その後、オンデマンドWeb講座として8月3日（水）から9月30日（金）までの予定です。

記者発表の準備やニュースリリースの作成、メディアへの取材対応、Web原稿の作成など日々の仕事に取り組む広報の担当者。後輩の指導、案件をめぐる他部門との調整などさまざまな仕事に忙殺されるのが、実質的に現場のリーダーともいえる中堅広報実務者の日常です。

忙しさに追われる中で、日々新鮮な気持ちで自らのミッションと役割を見極め、より高い目標をめざして成長するには、社内や部門における自身の立ち位置をしっかりと自覚し、広報の業務を通じて上司や同僚、他部門、さらにメディア関係者をはじめとする社外の人々との関係をいかに構築しリードしていくか、その気付きを得ることが重要です。

本講座は、一定の業務経験を有する中堅実務者を対象とし、広報の業務において果たすべき役割、社内外の人々との関係性の持ち方など、業務を遂行するうえで要となるポイントを学ぶ研修講座です。講師には、大手自動車会社の広報部長を経て、現在は大学教授としても教鞭をとられている世界的なPRコンサルティングファームの代表取締役社長 土井正己氏、経済ジャーナリストとしての活動を通じてメディア編集部と企業広報の双方の業務に通じている株式会社グラニテ 代表取締役 池田直渡氏をお招きし、それぞれのご経験に基づき実例を交え、中堅実務者の日々の仕事に役立つ講演とアドバイスをいただきます。

●開講方式について

受講にあたっては、以下のいずれかを選択いただきます。

<会場講座+オンデマンドWeb講座>

講師への質問や名刺交換、ネットワーク作りにつながる参加者相互の交流が可能な会場での受講に加え、受講内容の確認に役立つオンデマンドWeb受講も利用できます。

<オンデマンドWeb講座>

地方在住のため、あるいは都合により会場へおいでになれないみなさまも、任意の時間や場所でスマホやパソコンを利用しフレキシブルに学んでいただくことが可能です。

その他、講座の詳細、受講申込みについては、協会Webの講座ページをご覧ください。

<https://prs.j.or.jp/event/pr-middle/>

■講座と講師

内 容	講座タイトル	講 師
講座1	「トヨタで学んだ広報の責務 ～極めて重要な中堅職の戦略思考～」	クレアブ株式会社 代表取締役社長 土井正己 氏
講座2	「メディアの実際と広報担当の仕事」	経済ジャーナリスト／株式会社グラニテ 代表取締役 池田直渡 氏

（事務局 真部）

パブリックリレーションズ実務講座 2022

「新任広報部長講座」をリアル開講

～ベテラン広報部長を囲むお悩み解決の交流サロン 2022～

教 育 委 員 会

協会では、新たに広報部門を担当する上級管理職に着任されたみなさまを対象とする「新任広報部長講座 2022」を 7 月 27 日に開講します。

本講座は、着任から間もない広報担当役員や広報部長等を対象として特化し、部門を統括する上級管理職としての心構えや考え方、コンセプチュアルなスキルを身に付けることをねらいとします。開催第 6 回を迎える本講座は、より高い受講効果が得られるよう会場における開催を予定し、直面する数々の課題を共有、講師とともにその解決策を探ります。

講師には、大手日本企業における広報担当役員経験者、大手経済新聞社の編集長、法的視点とともに広報的な視点をあわせ持つ弁護士を迎え、広報部門の上級管理職として不可欠な考え方やスキル、メディアの視点からみた企業や経営、危機管理等に求められる法的かつ広報的な要諦等についてご解説いただきます。また、講座終了後には受講者の皆さまの今後の交流、ネットワーク作りにも役立つよう、簡単な懇親機会も設けます。

詳細ならびに受講申込みについては、下記の協会 Web の講座ページをご覧ください。

<https://prs.j.or.jp/event/management2022/>

■講座の概要

- ・講 座 名：「新任広報部長講座」
- ・開催方式：会場における対面講座
- ・開講日時：2022 年 7 月 27 日（水） 14:00～18:30
- ・定 員：12 名（定員に達し次第、受講受付を締切ります）
- ・受講資格：企業・団体の広報担当役員、広報本部長、広報部長、それら役職に準ずるみなさま

■講座と講師

内 容	講座タイトル	講 師
企業広報	「広報部長の責任と役割(仮)」	株式会社ローソン 常勤監査役 宮崎 純氏 (元専務執行役員コミュニケーション本部長)／ 社会構想大学院大学 客員教授
メディア	「メディアからみた企業・経営と広報(仮)」	日本経済新聞社 日経産業新聞編集長 松井 健氏
法 曹	「危機管理の実務と広報部長の役割」	国広総合法律事務所 弁護士 國廣 正氏

■受講料（税込）

PR 協会会員(※)	PRプランナー(准・補)	一般
39,600 円	52,800 円	59,400 円

※正会員としてご入会いただいている企業・団体にお勤めの方、個人会員・准会員としてご入会いただいているご本人に限ります。

(事務局 真部)

会 員 限 定**第 26 回広報活動研究会(6 月 3 日)開催報告
「京王電鉄 鉄道教習所」訪問**

— 企 業 部 会 —

企業部会では、会員企業の広報活動（機能、組織、運営体制など）を実際のケーススタディを通して知り、広報・文化施設等によるコーポレートコミュニケーション、ブランディングを体験していただくことを目的に「広報活動研究会」を開催しています。

今回は、京王電鉄株式会社様のご協力を経て、東京都八王子市にある国土交通大臣指定の動力車操縦者養成所である「鉄道教習所」を訪問し、京王電鉄の広報活動についてお話を伺うとともに、鉄道従事員の教育施設の見学を行いました。

正会員・個人会員限定**第220回定例研究会****DX・コロナ・戦争で経済メディア大激変！
勝ち残りの条件は？
～ダイヤモンド編集部メディア展開を探る～**

**講 師：株式会社ダイヤモンド社
ダイヤモンド編集部 編集長
山口圭介氏**

第 220 回定例研究会は、5 月 27 日（金）オンラインで開催しました。講師は株式会社ダイヤモンド社 ダイアモンド編集部 編集長 山口圭介氏。テーマは「DX・コロナ・戦争で経済メディア大激変！ 勝ち残りの条件は？～ダイヤモンド編集部メディア展開を探る～」でした。

PRSJ in Media

● 6月1日（水） 『月刊広報会議』（宣伝会議）7月号

『月刊広報会議』7月号における当協会の連載コラムで、当協会の企業部会が開催した「第39回広報ゼミ」の概要について掲載されました。

コラムでは、当日、帝人（株）コーポレートコミュニケーション部長（当時）の宇佐美吉人氏が講師として登壇し、広報組織、人材として求められる視座、目標設定や取組みをすべきかという講座テーマのもとに行われた講演のポイントを紹介しています。

[記事協力：株式会社内外切抜通信社]

■■■■■■■■■■ 協会からのお知らせ ■■■■■■■■■■

PRSJの公式SNS更新中です！ぜひご覧ください♪

Twitter : <https://twitter.com/PRSJinfo>

Facebook : <https://www.facebook.com/prsj1>

編集担当より

本誌の内容に関するご意見・希望をお寄せください。
中身の濃い会員誌に育てていきたいと思っておりますので、
よろしくお願いいたします。

広報委員会

Eメール mail@prsj.or.jp

FAX 03-5413-2147

※禁転載